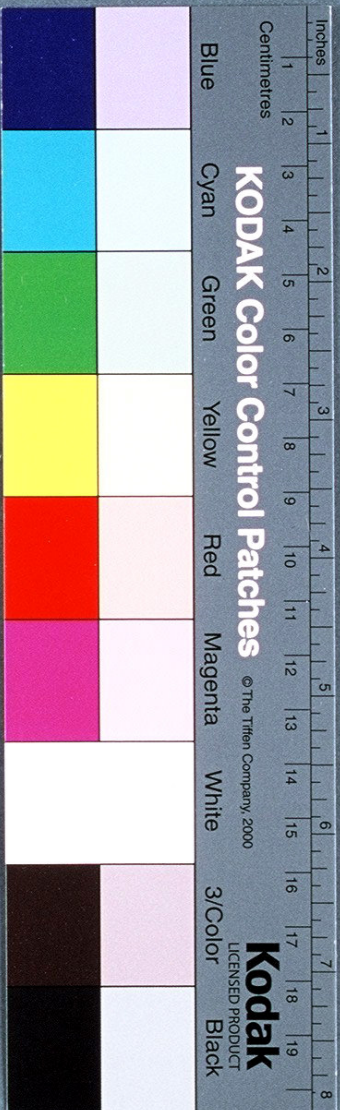


永寶

品法細之圖

六

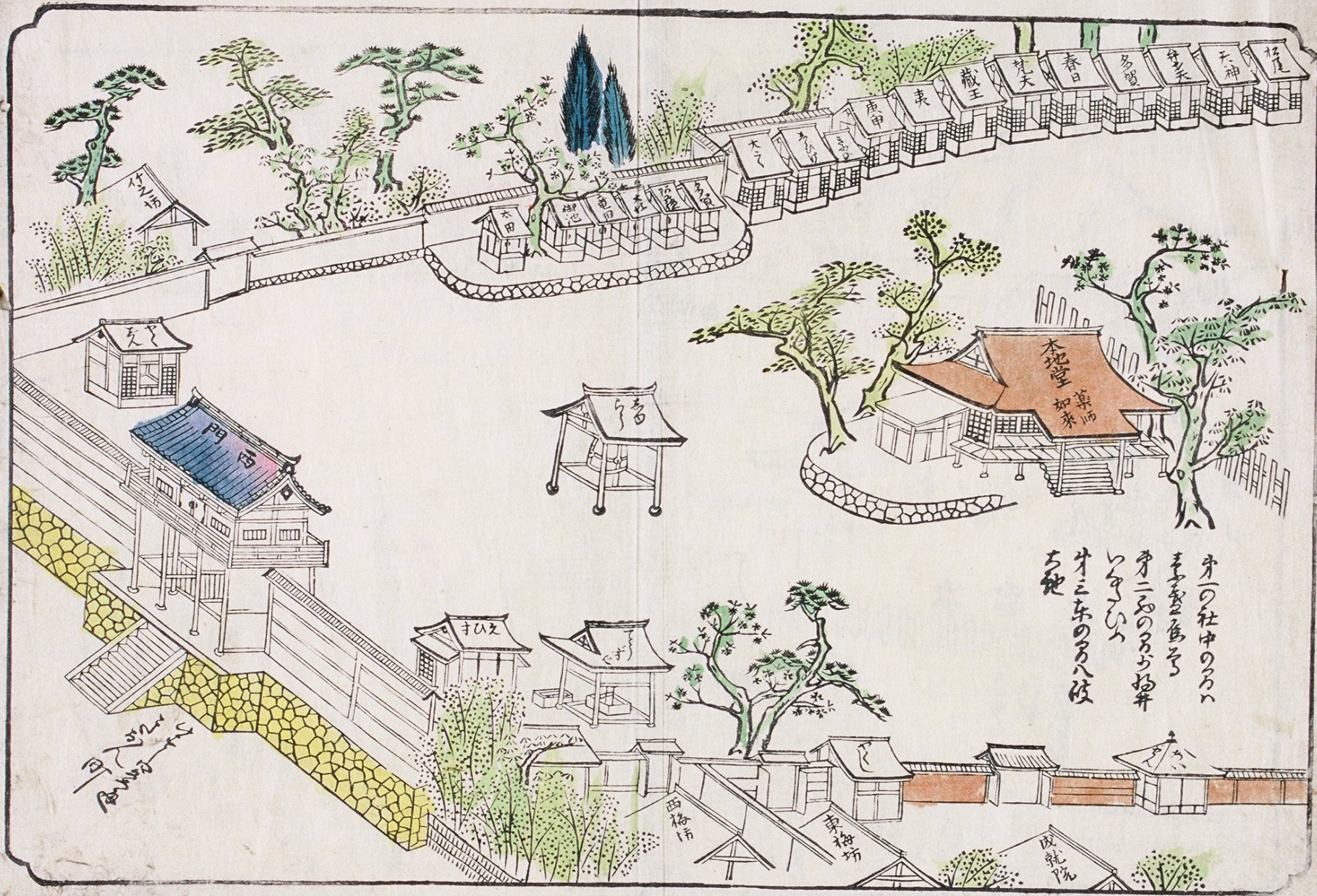




法和天皇貞観四年甲子
山列聖宮郡八坂の宮
とてて法和天皇

百人の
社
百人

中名
祇園
百人



寺の社中のあり
 寺の社中のあり
 寺二社のありと梅井
 寺のあり
 寺の東のあり八岐
 寺

石
 成就院

五月晦日の巻に社大和修造とあり



しるし

五右衛門

三右衛門

名公

中村

花屋

某

吉柳

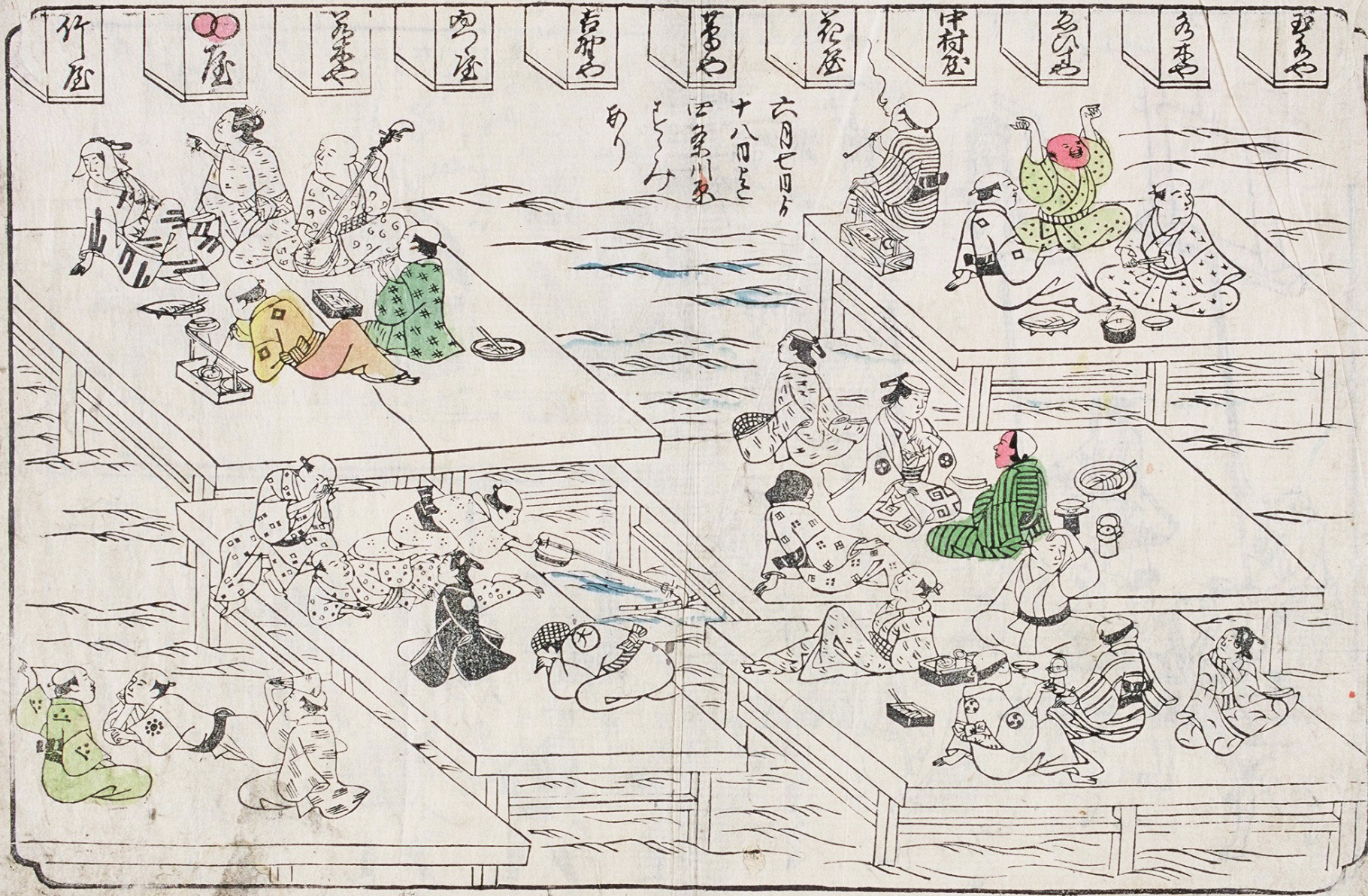
内屋

尾花

屋

行屋

六月七日
十八日
河原川
あり



六月七日出



右方陣 多々
しん三乗小ちり
くすんくすん
けんあやあま
ませいんあま
あまあまのほほ
のうまあまあま
くすんくすん



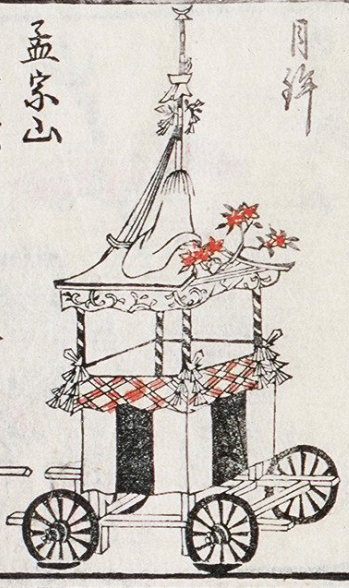
右山
これに林切皇
三入をあらん
しんくすん
松ら
川ま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま



右山
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま



本城山
仲山のあまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま



月
五家山
二十四孝のあまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま



五家山
二十四孝のあまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま



六月七日
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま
あまあま



せんじのしんぎ
まはるるーるの
のまじり



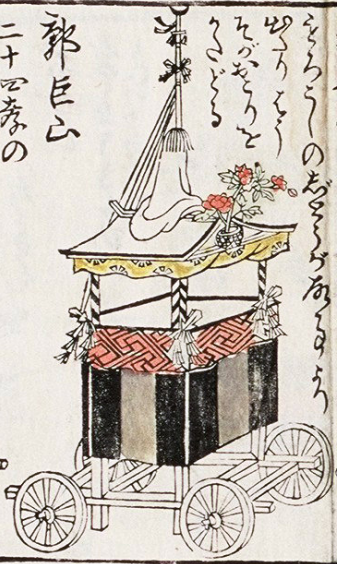
あけり

あけりのしんぎ
んぢり
せんぎ
あけり



函谷

あけりのしんぎ
んぢり
せんぎ
あけり



郭巨

二十四孝の
あけり
あけり
あけり



天竺



いかにの
あけり



あけり
あけり
あけり



白糸天山

てんてんてん
らてんとおひめ
てんてん

兼あかこ
りらりのちや
あまをこれ
内わけちの
四のん
第のてんてん
てんてん

あつと
あつとあつと
あつとあつと
あつとあつと

てんてん
てんてん

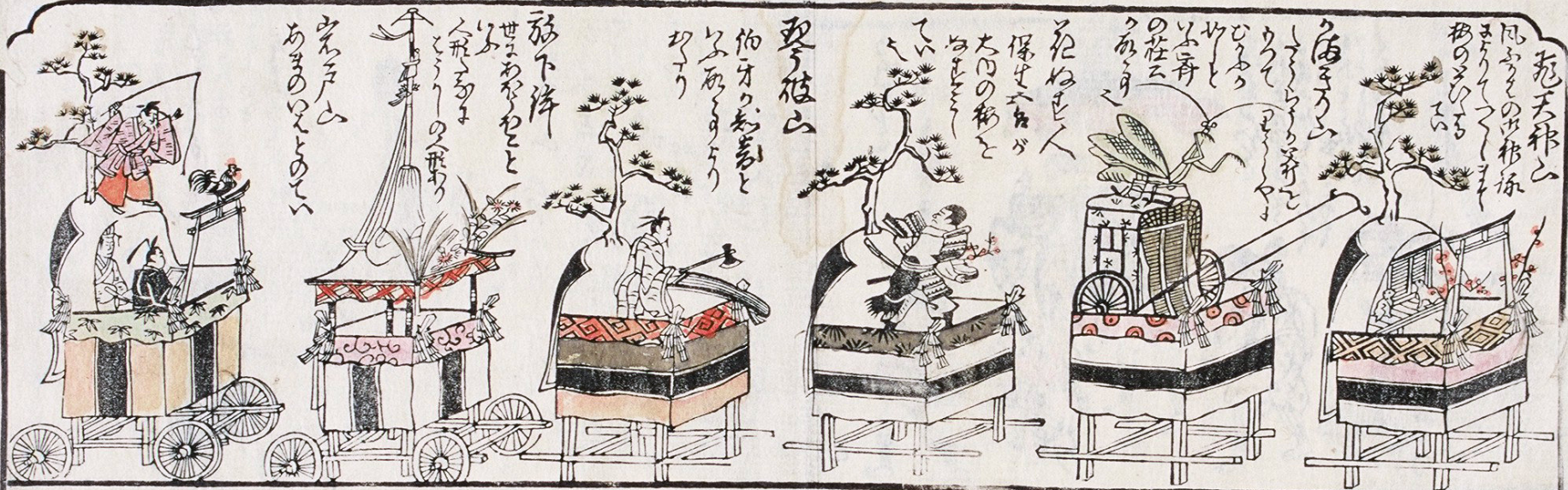
てんてん
これ天のまの
は長が細そり
かたりてんてん
ものてんてん
んてんてん



おんち

おんち
おんち
おんち
おんち





冠天邦の
凡ふその出帆係
まきしつてしん
栲のみのる
てい

くほまろふ
しんしんしんしん
うつくし
ひんろ
やうし
よす丹
の柱云
うあま

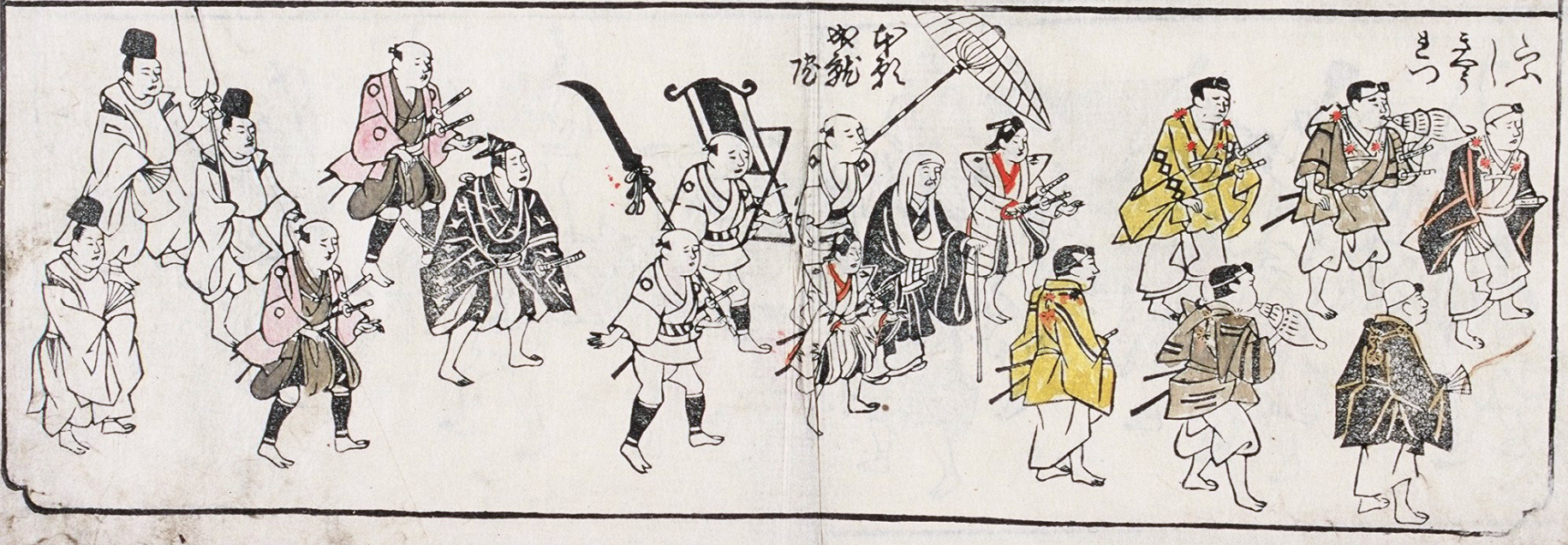
たねせし人
保せ六番が
大の節と
なせしん

てい
てい

翠ヶ破心
物方のお割と
うあまのうら
わたり

祓下降
世はあわわと
いふ
人形あま
くしんりのあま

おん戸心
あまのいとのてい



まきしつて

吹中
龍丸

二月七日山崎の足取り
 舟舳一は、神功皇后
 三人と退治のち
 出陣のてい
 見るにちちの
 舟人か
 さんいおと
 ともあつてい



梶舟安山 六月廿四日の江戸

うつとと赤雲
 ぬ家のくも
 い後のけりや
 きぬの
 あり



あつと山崎の足取り
 是れは山崎の足取り
 右々の序
 太いのみ
 があつと
 人せ
 初
 あり
 あり



於麻山
 ともりの
 まあつと
 あり



山崎

牙一
 本が天
 とこのあ
 みこし



